

## デジ・ドット・コム(DSOM)

プリペイドサービスが好調に推移、2018/12 通期のプリペイドサービス収入の伸び率は過去5年で最高  
マレーシア | 通信事業者 | 業績フォロー

BLOOMBERG DIGI:MK | REUTERS DSOM.KL

- 2018/12 期 4Q (10-12 月) は、売上高が前年同期比 2.1%増の 16.79 億 MYR、EBITDA が同 2.2%増の 7.47 億 MYR、税引後利益 (PAT) が同 9.4%増の 5.25 億 MYR だった。プリペイドサービスが減少したものの、注力しているポストペイドサービスが伸長した。
- 2018/12 通期のプリペイドサービス収入は前期比 14.8%増となり、過去5年で最も高い伸び率となった。
- 通期会社計画は、通信サービス収入が前期比横ばい、EBITDAが同1桁前半の伸び、設備投資が通信サービス収入に対し11-12%。SME向けやBtoB市場でポストペイドサービス収入が伸びる見通し。

### What is the news ?

1/24 発表の 2018/12 期 4Q (10-12 月) は、売上高が前年同期比 2.1%増の 16.79 億 MYR、EBITDA が同 2.2%増の 7.47 億 MYR、税引後利益 (PAT) が同 9.4%増の 5.25 億 MYR となった。EBITDA マージン比率は 44.5%と前年同期の 46.1%から 1.6pp 低下した。主力の通信サービス収入は同 2.0%減の 14.82 億 MYR と減少。プリペイドサービスの減収が響いたが、注力しているポストペイドサービス (後払いもしくは月払い) は伸長した。2018/12 通期のプリペイドサービス収入は前期比 14.8%増となり、過去5年で最も高い伸び率となった。総契約者数は 1,166.0 万人と前年同期の 1,174.7 万人から減少。ただ、インターネット契約に限ると契約者数は 916.2 万人と前年同期の 865.9 万人から増加した。ユーザーあたり平均月間データ使用量は 9.9GB と前年同期の 6.8GB から拡大。ユーザーあたり平均売上高 (ARPU) は 41MYR と前年同期の 43MYR から減少した。

通信サービス収入のうち、ポストペイドサービス収入は同15.0%増の 6.67億MYR。契約者数は280.5万人と前年同期の248.0万人から増加した。ARPUは、手頃な価格のインターネットプランで利用拡大を促す施策により 77MYRと前年同期の78MYRから低下。端末購入プラン「Digi Phone Freedom 365」の開始により、定着率が向上した。プリペイドサービス収入は同12.6%減の8.15億MYR。通話やメッセージングサービスの需要が後退。ポストペイドサービスへの移行も進んだ。契約者数は885.5万人と前年同期の926.6万人から減少。ARPUは30MYRと前年同期の34MYRから低下。

### How do we view this ?

2019/12通期会社計画は、通信サービス収入が前期比横ばい (前年実績 : 59.24 億 MYR)、EBITDAが同1桁前半の伸び率 (同 : 29.56 億 MYR)、通信サービス収入に対する設備投資の比率は11-12% (同 : 11.60%)。既存顧客からの収益や、零細企業 (SME) 向けやBtoB市場でポストペイドサービス収入が伸びる見通し。通期市場予想は、売上高が同横ばいの65.29億MYR、当期利益が同1.4%増の15.61億MYR。

### 業績推移

※参考レート 1MYR=27.05円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高 (百万MYR)	6,597	6,340	6,527	6,529	6,597
当期利益 (百万MYR)	1,632	1,476	1,540	1,561	1,598
EPS (MYR)	0.21	0.19	0.20	0.20	0.20
PER (倍)	21.81	24.11	22.90	22.90	22.90
BPS (MYR)	0.07	0.07	0.09	0.09	0.09
PBR (倍)	65.43	65.43	50.89	53.26	53.26
配当 (MYR)	0.21	0.19	0.20	0.20	0.20
配当利回り (%)	4.59	4.15	4.37	4.34	4.41

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

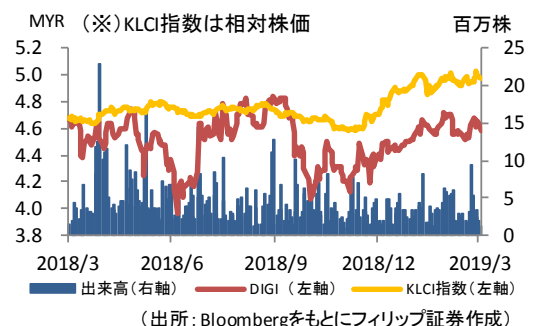
配当予想 (MYR) **0.20** (予想はBloomberg)  
 終値 (MYR) **4.58** 2019/3/25

### 会社概要

ノルウェーに本社を持つグローバルテレコミュニケーションプロバイダーのテレノール・グループの一員。投資持株会社で、子会社のデジ・コミュニケーションズを通じてモバイルサービス事業を手掛けている。デジ・コミュニケーションズは1995年にマレーシアで初めてのデジタル移動通信サービスであるGSM1800サービスを開始した。マレーシアで約1,170万人のユーザーを抱えており、ユーザーのうち72.7%がスマートフォンユーザーである。通信サービスのほか、不動産経営 やその他関連サービスなども展開する。同社の4G+ネットワーク(データ通信速度が10Mbpsの4G LTEおよび20MbpsのLTE-A)は、マレーシア国土の80%をカバー。LTE-Aが国土面積の55%をカバーするほか、4G LTEの電波到達範囲が人口ベースで87%である。ファイバー・ネットワークは8,000kmに及ぶ。(2017/12末時点)

### 企業データ (2019/3/26)

ベータ値 1.13  
 時価総額(百万MYR) 35,765  
 企業価値=EV (百万MYR) 38,026  
 3ヵ月平均売買代金(百万MYR) 14.8



### 主要株主 (2019/3)

(%)  
 1. テレノール 49.00  
 2. Employees Provident Fund Board 14.08  
 3. Skim Amanah Saham Bumiputera 7.61  
 (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### アナリスト

増淵 透吾  
 togo.masubuchi@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707  
 笹木 和弘  
 +81 3 3666 6980  
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>